2019 年度の事業報告書

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 甲斐スポーツ振興会

1 事業の成果

・スポーツイベントや講演会を開催し、情報誌を発行することにより、スポーツに触れ、スポーツの楽しさ、身体を動かす事の大切さ、友達や地域の方・親御さんとのコミュニケーションの大切さを知って貰い、子どもや保護者、指導者の健全育成を図る。

また、アスリートとしての子供達の能力の向上と技術の向上、障害の防止をはかりスポーツの振興に寄与する。

・スポーツや健康に関連したフリーペーパーの発行を通して、スポーツの楽しさ・重要さを発信し当法人活動の地域への浸透を図る。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千 円)
① スポーツに関する諸科学に基づく講演会、相談会の開催	笛吹市指導者講演会 佐野夢加氏による幼少期から オリンピック出場に至るまでの、 成功や挫折などの体験談	(A) 2019. 7. 9 (B) 笛吹市スコ ーセンター (C) 3 名	(D) 笛吹市の 青少年/保 護者/指導 者 (E) 40 人	30
③ その他この法人の目的を達成するために必要な事業	フリーペーパー「かいスポ プレス Vo. 1」の発行 トップアスリートからのメッ セージ特集 (山梨県民のための運動や健 康に関する無料の情報誌を 1 万部発行)	(A) 2019. 8. 5 (B) 山梨県内約 400 施設へ無 料配布 (C) 9 名	(D) 青少年/ 保護者/一 般 (E) 10, 000 人	1, 011
② 高度な専門技術を有する選手等によるスポーツイベントの開催	ヴァンフォーレ甲府イベン ト イベント広場、みんなのあそび 場に元プロ野球選手による野 球体験教室で参加	(A) 2019. 9. 10 (B) 小瀬スポーツ 公園芝生広場 (C) 3 名	(D) 青少年/ 保護者 (E) 300 人	0

②高度な専門技術を有する選手等によるスポーツイベントの開催	甲斐スポ道場 元オリンピック選手による走り方教室 ダブルダッチインストラクターによる体験教室	(A) 2019. 9. 21 (B) 赤坂台総合公園ドラゴンパーク (雨天中止により実施しなかった) (C) 6 名	(D) 小学生/未就学児 (E) 40 名	0
③その他この法人の目的を達成するために必要な事業	フリーペーパー「かいスポプレス Vo. 2」の発行 山梨県の少年スポーツ特集 (山梨県民のための運動や健康に関する無料の情報誌を1万部発行)	(A) 2019. 11. 27 (B) 山梨県内約400施設へ無料配布 (C) 8 名	(D) 青少年/保護者/一般 (E) 10, 000 人	857
②高度な専門技術を有する選手等によるスポーツイベントの開催	【フッキー体験塾】 陸上、ダブルダッチ、バスケットボールの体験会	(A) 2020. 2. 15 (B) 笛吹市いちみや桃の里スポーツ公園体育館 (C) 6 名	(D) 笛吹市の青少年/保護者 (E) 60 名	60
③その他この法人の目的を達成するために必要な事業	フリーペーパー「かいスポプレス Vo. 3」の発行 山梨県のプロアスリート&オリンピック特集 (山梨県民のための運動や健康に関する無料の情報誌を1万部発行)	(A) 2020. 2. 27 (B) 山梨県内約400施設へ無料配布 (C) 8 名	(D) 青少年/保護者/一般 (E) 10, 000 人	855

〇〇年度の事業報告書

前事業年度の自至年月日を記載する

〇〇年〇〇月〇〇日から〇〇年〇〇月〇〇日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇

1 事業の成果

- ・以下の事業を実施した。
- ・ホームページの開設のための議論の検討結果は、通常総会において実施の承認が得られた。当該ホームページは、3月1日から開設している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

実施した事業は、
(A)から (E)までの
事項をものれなく記載する

活動計算書で事業費を事業別に区分している場合

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(C) 従事者の人数	受益対象者の範囲 (D) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
①環境美化を目的として清掃を行う事業	・地域の通学路や駅周辺の清掃を行った。	(A) 5月〇日及び9月△日に行った。 (B) 〇〇地域の通学路、△△駅周辺 (C) 20人	(D) 通学路や駅を利用する市民 (E) 不特定多数	500
②活動支援を目的として助言を行う事業	・地域の通学路や駅周辺の清掃を行う活動の実施を検討している他の団体を支援するため、電子メールの利用による助言窓口を開設した。	(A) 3月1日から随時行った。 (B) 主たる事務所 (C) 3人	(D) 助言を希望する他の団体 (E) 1団体	110
③自然環境の保護に関する講演会を開催する事業	・大学、行政、他の特定非営利活動法人に所属し、自然環境の保護に関する研究や実務に携わっている方々を招き、講演会を開催した。	(A) 1月〇日に開催した。 (B) □□市文化会館 (C) 8人	(D) 自然環境の保護に関心がある市民 (E) 50人	600

その他の事業を行う場合のみ記載する

特定非営利活動に係る事業の事業内容と、その他の事業の事業内容とは、相違点を明らかにして記載する

実施した事業は、(A)から (C)までの事項をもれなく記載する

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(単位：千円)
①会員相互の親睦会の開催	・会員相互の意見交換のため、親睦会を開催する。	(A)年1回(12月) (B)〇〇会館 (C)20人	100
②チャリティーコンサートの開催	・自然環境の保護に関するイベントにおいて、チャリティーコンサートを開催する。	・本事業年度は、実施しなかった。	—

記載する場合には、活動計算書の

「事業費合計額」と全体の合計額

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。